

平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成17年11月24日

No.1542

超私の奉仕

国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
第2690地区ガバナー 延原 正

△事務局▽

島根県出雲市平田町 2280-1
平田商工会議所 2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
A.M. 9:00 ~ P.M. 5:00 土・日曜・祝祭日休局

会長 大谷 孝 副会長 加藤喜久
幹事 内田節夫 会計 加藤昇

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第 1542 回	風土記の丘館長 本間恵美子様	温泉とお風呂
第 1543 回	18:30~ ホテルほり江	忘年例会
第 1544 回	I M 実行委員長 松倉治夫様 (益田 R C)	I M のご案内

出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
50	39	11 (1)	79.59	93.88

欠 席 者 園・石原恵・大島卓・松浦・名原・園山・横野・堀江・石橋・原光 (石倉)
来 訪 者 常松 (出雲南)

幹事報告

1. ロータリーレート変更 12/1より 1ドル118円 (現行112円)

2. 例会変更

- 出雲 R C 12/13(火) 18:30~ 忘年家族会 (於) ウェルシティ島根
ビジター受付 11:30~12:30 ホテル武志山荘
- 大社 R C 12/14(水) 18:30~ 忘年家族会 (於) ゆたか亭
ビジター受付 11:30~12:30 事務局
- 松江 R C 12/21(水) 夜間例会
ビジター受付 定刻定例会場

3. 休 会

- 大社 R C 12/28(水) } 定款により ビジター受付 11:30~12:30 事務局
- 松江 R C 12/28(水) } " " 定刻定例会場

クラブ細則第4条第1節により年次総会を12月22日に開催致します。

よって、第1条第1節により年次役員 (副会長、副幹事、会計) 及び4名の理事の立候補、推せんのある方は文書をもってお申し出下さい。本日より一週間受け付け致します。

ス マ イ ル

常松 (出雲南) 久しぶりにお邪魔します。どうぞよろしくお願い致します。

藤井 スピーカーに本間先生をお迎えして。

大谷 本間様、今日のスピーチ楽しみにしています。出雲南 R C 常松様ようこそ。

飯塚大 出雲南 R C 常松さん、ようこそいらっしゃいました。

12月8日例会受付当番

常松 秀清 ・ 黒田 昌弘 ・ 牧野 昭雄

★松江南クラブ (月)

★出雲中央クラブ (月) 11/28

★松江しんじ湖 (火)

★出雲クラブ (火) 12/13

★松江クラブ (水)

★大社クラブ (水) 12/14

★平田 RAC (第1・3水) 12/14

★松江東クラブ (木)

★出雲南クラブ (金)

会長挨拶

先週は私的な会があり、上京し、例会は欠席させていただきました。年に3~4回上京する私に今回はやや異なった感じをいただきました。

その1つは、人はいよいよ東京、東京へと向かい集まる様になり、大きなビル、マンションは建つは、ホテルはいつも一杯「何でも東京でなければ…」の東京一極集中がいよいよ強くなって来ていること。

その2つは、東京は景気がよくなってきた感じがしました。道行く行がイキイキとし澁刺とし街に活気を感じました。今年の春とは随分違う感じがしました。百貨店も人が多く、高級品が売れるそうです。景気動向指数や日経平均の急上昇をみてもうかがえます。山陰の経済、景気は従来より都市の上昇より遅れてきますが、未だ当地方の景気は依然低迷し、いつもより上昇が遅れている様です。公共事業部門の多い当地方は産業構造上からも景気の春はいつ来るのか、不安さえ感じました。

夜は恒例により懇親会ですが、話題の中心は健康、家族、趣味などですが、行革の話もありました。地方からの出席は私1人で、地方出身ではあるが居を東京に置く者が殆どで、田舎の苦悩、問題点、都市と田舎との格差などを話しても観念的には理解しても、実態は分からない。国会議員も都会出身者が多くなりどれ程田舎を理解されているのか……。私も財政の再建が一番の主題と思いますが、政府は小さい政府財政の建て直しに主眼をおくあまり、交付金、補助金等も一律のカット、急激な国民の負担の増加を進めると財政力の弱い地方はどうなるのか。切り捨てか？ 税金は都心部では可成り伸びるそうですが当地方は低迷し、いよいよ都市と田舎、地方との格差はつくのみです。

先行きへの不安、将来、田舎はどうなるのか。複雑な気持ちを感じて帰って来ました。

スピーチ

温泉とお風呂

風土記の丘館長 本間 恵美子 様



①温泉

出雲国風土記

忌部神戸。郡家の正西二十一里二百六十歩なり。國造、神吉詞奉しに、朝廷に参向ふ時の御沐の忌玉作る。故、忌部と云ふ。即ち川の邊に湯を出す。出湯の在る所は、海陸を兼ねたり。仍りて男も女も、老いたるも少きも、或るは道路を駱驛ひ、或るは海中を洲に沿ひ、日に集ひて市を成し、繽紛燕楽ふ。一たび濯げば形容端正しく、再び浴すれば、萬病悉に除こる。古より今に至るまで、験を得ずといふことなし。故、俗人、神湯と曰ふなり。

不昧公など松江の殿様も温泉に行くと10日から20日くらい泊まっていた。

②お風呂

- 昔のお風呂はお湯を運んで来て桶に入れた。
- 昔は混浴があたりまえであった。
- 現代のユニットバスは東京オリンピックの選手材用に考案されたもの。